

## 令和七年度 入学式

### 新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、金光藤蔭高等学校へようこそ！

義務教育を終え、今日からいよいよ高校生活が始まります。成人年齢が十八歳になり、三年後には大人になります。高校での三年間は、将来の生き方を決める基礎となる重要な時間です。“自覚”と“目標”を持って、着実に一歩ずつ歩みを進めてほしいと思います。

本校は、大正十五年に創立以来、女学校・女子高時代を経て、平成十一年に共学となり今年で九十九年目を迎えました。金光教の教えを根幹に、「天地自然、周囲の人々に感謝し、自分自身、他人を大切にし、平和を願い、社会に貢献する人を育てる」という建学の精神のもと、“心の教育”を第一に実践しています。日々の学校生活の中で、強くて、優しく、美しい心を育んでほしいと願っています。

さて、皆さんが在学中、学園創立百周年を迎えます。そして次なる百年への第一歩を踏み出すこととなります。その先には、経済問題、少子化問題、エネルギー問題、温暖化や大規模災害、紛争や戦争など、様々な問題が渦巻く、世界Ⅱ社会という大きなフィールドが待っています。身近な事柄としては、皆さんのような若者が直面している大きな問題の一つにSNSの功罪があります。SNSは簡単に様々な情報にアクセスでき、人を繋ぐツールとして非常に利便性が高いものです。しかしながら一方で、人間関係を壊す道具にもなり、人を騙したり、傷つけたりもします。高校生になると、行動範囲、交友関係も広がりますが、実際に顔を見て、善悪の判断も含めて、人と正しく接することを心がけてください。いわゆるZ世代Ⅱ1997年(平成9年)～2012年(平成24年)までに生まれた世代を、“ジェネレーションZ”と呼ぶようですが(まさに皆さんもその世代)、SNS利用アプリのベスト5を挙げてみますと、

1位：LINE 2位：Instagram 3位：X(旧Twitter)

4位：Threads(スレッズ) 5位：BeReal(ビーリアル)となっています。他にも、TikTokやSnapchatなどが多くのZ世代ユーザーに利用されています。とりわけ最近、高校生の間では、BeRealによる問題が取り沙汰されています。このアプリの特徴は、毎日一回不規則に届く通知に合わせて二分以内に写真を撮影して投稿するというシステムにあります。そのため、授業中トイレに抜け出したり、スマホを触るべき場面ではない時間に写真投稿したりすることが現実にあるようです。今の社会では、インターネットやSNSは生活の大きな部分を占めています。正しい使い方、付き合い

方を身につけること、何より人と人とのコミュニケーションを一番大切にしてほしいと思います。

私は、五十八年の人生の大半をスポーツ中心に過ごしてきました。小学校時代は柔道を習い、中学・高校・大学ではバスケットボールに明け暮れました。選手時代から教員としてこれまでの期間を併せると、四十六年間バスケットボールに携わってきました。その中で、たくさんの人に出会い、影響を受け、お世話になったことが、私のかけがえない財産となっています。そのお陰で今の自分があると思っています。

“継続は力なり”という言葉があります。何かを続けることで、経験や発見が得られます。生き甲斐が見つかるかもしれません。それは人間力を高める大きな要因となるはずです。三年間という時間は、これから先の長い人生のほんの短い時間かもしれませんが、将来の進路、生き方を左右する大切な期間になります。目標を見つける、何かに打ち込む、好きなことを徹底的にやってみる、いろんなことに興味関心を持つ、人との付き合い方を学ぶなど、多くのことを学び、夢に向かって突き進んでほしいと願っています。

今日から高校生活を始めるにあたり、毎日の生活の中で、心に留め、常に実践してほしいことを三つお伝えします。

- 一、礼儀・挨拶・言葉遣いを身につけること、高い規範意識を持ち、法律は勿論、学校や社会のルール、マナーを遵守すること。
- 二、生活習慣（食事・睡眠）の確立、時間管理・体調管理を心がけること。
- 三、人の話を聴く力、自分で考え行動する力を養うこと。

以上の三点を身につけることが、社会を生き抜いていく力となります。

新入生の皆さん、これから金光藤蔭の多彩なコースで、たくさんの方の成功や失敗を経験し、人生の土台作りをしてください。金光藤蔭の教職員は、優しく、厳しく、皆さんを全力でサポートしてまいります。皆さんの高校生活が、先の未来へと続く輝かしい時間となるよう祈っています。

最後に、教育活動を展開するにあたり、保護者の皆さまと本校教職員との信頼関係は欠かせません。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、入学に際してのご挨拶といたします。

令和七年四月四日

金光藤蔭高等学校 校長 武田充広